

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 キッズさくら		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援に特化した運営を行い、保育園での困りごとを保育園の先生からの情報をもとに支援を行っている。	日々子どもたちや保護者からの情報を保育園の先生とこまめに話している。	今後、定期的に保育園の先生と児童発達支援のスタッフとの情報共有会議等の開催を検討。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	換気がしにくい。 窓が大きすぎることプライバシーの問題があり、暑さ、寒さの空調がコントロールしにくい。		窓ガラスに断熱と目隠しになるシートを張るなど環境整備が必要と思われる。
2	外階段が雨天・積雪時に危険。		雨天時の送迎時は見守りやマンパワーを強化する。 積雪時は休業することも視野に入れて、安全面を優先して運営する。
3	給湯の温度が上がりがすぎることが危険。 扉の開閉が危険。		常に危険予測を行いながら、子供たちを見守りケアをする。